

研究課題名

透析患者における psoas muscle index (PMI: 腸腰筋の筋肉量/身長²) と psoas muscle density (PMD: 腸腰筋の CT 値) が生命予後に及ぼす影響について

研究責任者の氏名

矢島隆宏

共同研究者の氏名

荒尾舞子

研究の概要

目的: 透析患者においては、Protein-energy wasting (PEW: 体脂肪と筋肉の減少) という栄養障害が知られている。肝疾患や癌の領域で、CT で求めた psoas muscle index (PMI: 腸腰筋の筋肉量/身長²) と psoas muscle density (PMD: 腸腰筋の CT 値) が生命予後予測因子であることが報告されています。PMIは筋肉量、PMDは筋肉の質を反映すると報告されています。しかしながら、透析患者における PMI と PMD の有用性は不明である。今回、透析患者において、PMI と PMD の PEW との関連、さらに全死亡、心血管死亡との関連を調査します。

対象と方法: 2008年1月1日から2018年12月31日の間に、当院外来にて維持透析患者の中、癌のスクリーニング検査の一環として腹部単純 CT を施行した患者さんを対象とします。カルテから、身長、体重、年齢、性別、既往歴、血液検査データ、観察期間内転帰(全死亡、心血管死亡)などのデータを収集します。第3腰椎のスライスで腸腰筋の面積と CT 値を計測し、腸腰筋の面積を身長²で割った値を PMI、一方 CT 値を PMD と定義します。匿名化した後に、PMI と PMD に関連するパラメーターの評価をします。さらに、PMI および PMD と生命予後との関係の評価をします。

研究に関する記録は、研究終了後 5 年間保存した後に消去します。なお、研究の成果に関しては、学会発表や論文投稿する予定です。住所、氏名などの個人情報が公開されることは一切ありません。

利用する情報の項目

身長、体重、年齢、性別、既往歴、血液検査データ、観察期間内転帰など

利用するものの範囲

医師: 矢島隆宏、荒尾舞子

連絡先

松波総合病院 腎臓内科 矢島隆宏

TEL: 058-388-0111

FAX: 058-388-4711